

IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
A-1 保育所保育の基本					
(1) 養護と教育の一体的展開					
1	1	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達課程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	○		
2	2	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		○	
3	3	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		○	
4	4	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。		○	
5	5	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。		○	
<p>(特に評価が高い点) 保育課程はクラス担当を中心に編成が行われ主任園長へという流れで行われています。また、子どもの健康や安全面への配慮、特にアレルギーについては注意を払っての対応やボディチェックという身体見取り図を使って怪我等の有無の確認が行われています。園外保育を通しての自然とのふれあいや幼児体操などで心身の発達を促す活動がなされ養護と教育の一体的展開がされるような工夫がされています。</p> <p>(改善が求められる点) 小学校との連携については、主任担任が行っていますが、年長の早い時期からすると先の見通しが立てやすいと思われれます。</p>					

(2) 環境を通して行う保育					
6	1	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。		○	
7	2	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。		○	
8	3	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。		○	
9	4	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	○		
10	5	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。		○	
<p>(特に評価が高い点) 定期的な野菜作りや野外活動、宿泊保育などを通して自然や社会と関わる取り組みをたくさんされています。また、英語教室や和太鼓の時間があり、いろいろな体験ができるよう工夫されています。</p> <p>(改善が求められる点) 午後からは異年齢の子どもが関われ、自由遊びができるようになってますが、絵本や玩具ができる範囲で新しいものになるともっと子どもたちの遊びや興味関心が広がると思われれます。</p>					

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(3) 職員の資質向上							
11	1	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。			○		
<p>(特に評価が高い点) すべての保育士が自己評価に取り組んでおり評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 自己評価をきちんとどの職員もしているの、それをいかし保育の改善や、日々の保育実践の振り返りにつなげることが望まれます。</p>							

A-2 子どもの生活と発達							
(1) 生活と発達の連続性							
12	1	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。			○		
13	2	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。			○		
14	3	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。			○		
<p>(特に評価が高い点) 積極的に障害のある子どもを受け入れており、それに対する保育士の配置等の環境を整えています。職員は子どもに対して穏やかに丁寧にかかわっています。</p> <p>(改善が求められる点) 障害のある子どもについての制度の情報は保護者に伝えていますが、医療機関や専門機関との連携が求められます。</p>							

(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場							
15	1	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。			○		
16	2	食事を楽しむことができる工夫をしている。			○		
17	3	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。			○		
18	4	健康診断・歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。			○		
<p>(特に評価が高い点) 子どもの健康状態について保護者と日々やりとりをし、観察やバイタルチェックをし、対応しています。また、食事については、手作りおやつ、バイキング給食や野菜作り、収穫体験を通して食への興味関心が持てるように工夫されています。</p> <p>(改善が求められる点) 食事の残量の把握がきちんとなされていますが、それについての見直しの検討を職員相互で進めるとさらに良くなると思われます。</p>							

【 評価項目 】		a	b	c	Na
(3) 健康及び安全の実施体制					
19	1		○		
20	2		○		
<p>(特に評価が高い点) 家庭と園との連携を密にアレルギー疾患のある子ども一人ひとりに対して対応しています。給食室の衛生管理について週3回漂白をする等徹底しています。また、食品の納入業者との緊密な連携など細やかな取組が行われています。</p> <p>(改善が求められる点)アレルギー疾患についての必要な知識や理解を促すためにも、研修会や関係機関との連携があることが望まれます。</p>					

A-3 保護者に対する支援					
(1) 家庭と緊密な連携					
21	1		○		
22	2		○		
23	3		○		
24	4		○		
<p>(特に評価が高い点) 年間食育計画の作成、月1回の保護者との昼食参観日の実施は高く評価できます。また、年に一回の家庭訪問をするなどして、家庭状況の把握をするとともに連携をとるよう工夫されています。毎日のボディチェックにより、虐待の早期発見にも努めており評価できます。</p> <p>(改善が求められる点) 家庭で子どもの食事の把握をさらに進めると連携が密になり子どもの食生活が充実すると思われます。また、児童虐待に関する知識や理解を促すための研修などの取組をすることが望まれます。</p>					